

●JAF九州ラリー選手権第4戦
●JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第4戦

グラベルマインドラリー2026

7月18～19日 / 佐賀県多久市周辺 117.31km 5SS 22.40km / Gravel / 晴れ / ドライ / ターマック
Text & Photo: HIROMOTO Izumi (廣本泉)

前田耕造／前田雅子が怒濤の3連勝



RH-1 優勝 #1 前田耕造／前田雅子



RH-1 4位 #4 中村均／大隣雪乃



RH-1 5位 #7 城戸新一郎／岸本香太郎



RH-1 6位 #6 ヒロカワシンイチ／モリシタシロウ



左から優勝＝前田耕造／前田雅子、2位＝津野裕宣／梶山剛、3位＝松尾薫／平原慎太郎。



RH-1 2位 #2 津野裕宣／梶山剛



RH-1 3位 #3 松尾薫／平原慎太郎

なかでも注目を集めていたのが最高峰のRH・1クラスで、2連勝中の前田耕造／前田雅子が幸先の良い走りを披露。SS1およびSS2でベストタイムをマークし、3連勝に向けてクラス首位で最初のループを折り返す。SS3、SS4では開幕戦のウィナー津野裕宣／梶山剛がベストタイムをマークするものの、SS5は前田がベストタイムをマーク。「SS1がハイスピードだったので怖かったし、SS2もリズムが悪かったんですけど、SS3からは調子が良くなりました。午後は暑くて集中力を切りましたが、SS5は全開で行きました」と語る前田が3連勝を達成した。

RH・2クラスでも激しいバトルが展開。これまで2連勝を果たしている林大河／有川大輔がSS1でスピンを喫しトップ争いから脱落するなか、開幕戦を制した納富瑠衣／藤澤卓弘がSS1を制すると、SS2では黒原康仁／松葉謙介がベストタイムをマークし、総合でも首位に浮

九州ラリー選手権第4戦「グラベルマインドラリー」が7月18日～19日に佐賀県多久市を舞台に開催。真夏の太陽がアスファルトを焦がすなか、6クラスに36台が集結し、計5カ所のSSで激しいタイム争いが展開されていた。

納富瑠衣／藤澤卓弘が今季2勝目



RH-2 優勝 #12 納富瑠衣／藤澤卓弘



RH-2 2位 #11 黒原康仁／松葉謙介



RH-2 3位 #10 林大河／有川大輔



左から優勝＝納富瑠衣／藤澤卓弘、2位＝黒原康仁／松葉謙介、3位＝林大河／有川大輔。



RH-2 4位 #16 吉田賢吾／小川まり



RH-2 5位 #14 枝光展義／枝光祐子

三浦勇二／三浦勇輝が2連勝



RH-3 優勝 #19 三浦勇二／三浦勇輝



左から優勝＝三浦勇二／三浦勇輝、2位＝北垣恵一／横手孝稀、3位＝近藤員章／川野想一郎。



RH-3 2位 #21 北垣恵一／横手孝稀



RH-3 3位 #18 近藤員章／川野想一郎

山田益丈／山田芽生も3連勝



RH-5 優勝 #27 山田益丈／山田芽生



RH-5 2位 #28 福崎真吾／年見憲人



RH-5 3位 #29 常慶明秀／武内咲樹

泉勇希／WATAKENが4連勝



RH-4 優勝 #23 泉勇希／WATAKEN



左から優勝＝泉勇希／WATAKEN、2位＝上清瑞穂／内藤通孝、3位＝三好明宏／三好陽人。



RH-4 2位 #24 上清瑞穂／内藤通孝



RH-4 3位 #26 三好明宏／三好陽人

崎野怜／出雲正郎が3連勝



RH-6 優勝 #33 崎野怜／出雲正郎



RH-6 2位 #32 白土辰美／菅原悠真



RH-6 3位 #36 山崎純一／河本拓哉

RH・6クラスでは「むちゃくちゃ怖かったけれど、頑張って踏みました。最初の2本はあまり良くなかったけれど、セカンドループからうまくまとまりました」と語る崎野怜／出雲正郎が、3連勝を達成した。

RH・5クラスでは「午前中は僅差だったので、午後にペースアップしました」と語る山田益丈／山田芽生が3連勝を達成。

RH・4クラスでは「SS1は怖かったけど感触は良かった。SS4は路面が悪くなっていたので抑えましたが、全体的にうまく走れたと思います」と語る三浦勇二／三浦勇輝が2連勝を達成している。

RH・3クラスでは「SS1は怖かったけど感触は良かった。SS4は路面が悪くなっていたので抑えましたが、全体的にうまく走れたと思います」と語る三浦勇二／三浦勇輝が2連勝を達成している。